

# ヤングケアラーの介護負担を軽減するシャンプーハットを無償提供

～群馬県内の若者に30個プレゼント。亡き旧友への思い～



はじめまして、前橋市在住の小林真樹(まさき)と申します。記者さんにおかれましては、日々の報道活動にお骨おりいただき、一市民としても感謝しております。厳しい寒さが続いておりますので、どうかご自愛くださいませ。

現在、慢性的な病気や障がいを持つ家族のために、介護や世話をする「ヤングケアラー」と呼ばれる18歳未満の子ども達があります。厚生労働省の調査によると、学業が本分とも言える義務教育の中学生に関しては、全国平均で17人に1人の割合とのこと。勉強をはじめ、自由な時間も中々取れないと報道でも言われています。

私は、多感な時期であろう彼ら彼女らの将来と、現在の精神状態がとても心配です。じつは小学校の頃、当時住んでいた自宅(玉村町)の2軒となりヤングケアラーのクラスメート(男子)がいました。彼は放課後、友達との遊びを早々に切り上げ、男手ひとつで育ててくれている父親のために、夕食を作ったり家事を懸命にこなしていました。

よく遊んだ彼との思い出と最近の報道とが重なり、何か力になれることはないかと考えました。介護と言えば「食事」「排泄」「入浴」が3大負担と言われてます。そこで今回、私が数年来扱っている、入浴介護でも使える「シャンプーハット」を無償提供することにしました。

一般的なシャンプーハットとは形状が異なる、アルファベットの「U字型」のため、介護の負担を軽減できるであろう利点が大きく3つあります。

- ・輪っかではないので強引にかぶせたり、再度持ち上げたり(顔面への摩擦)等がない
- ・大人でもサイズ調整不要、ワンタッチ着脱で使える
- ・人間を寝かせた状態でも使える



以上の理由から、ほんの少しでも介護の負担が緩和されればと思いお手紙させていただきました。

じつは先述のクラスメートは20代の頃、自ら命を絶ちました。22歳の時、同窓会で会った彼は元気にカラオケで歌っていたので、新聞の記事を目にした時はとても驚きました。あくまで私の勝手な想像ですが、幼い頃からの心労が、もはや取り返しがつかないほど彼の心に重くのしかかっていたのかもしれない。

そう考えると、「そうなる前に思いつくことを提案してみよう」と、傍観者ながら手を挙げようと思いました。

(裏面に続く)

そういった過去の経緯を踏まえつつ、現在、日本の未来を担う存在であると同時に、若干 10 代で高齢化社会を支える、彼ら彼女らの負担を軽くしたいです。回避できない負担は「みんなで担えば」きっと軽くなります。

大変お忙しいとは存じますが、今回の取り組みをご取材いただき、報道の力で多くの方々へ知らせていただけたら幸いです。(希望者多数の場合は追加用意可能)

### 【本件のお問い合わせ先】

小林真樹(まさき)  
〒370-3572 群馬県前橋市上青梨子町 175-1  
電話番号:090-1699-5505 (AM7:00-PM23:00)  
メール:sales@dreamfarm01.com

応募は下記、メール/応募フォーム/電話/FAX

メールアドレス      応募フォーム



電話番号:0120-007-848(9:00-18:00)

FAX:027-253-3075(24 時間OK)